

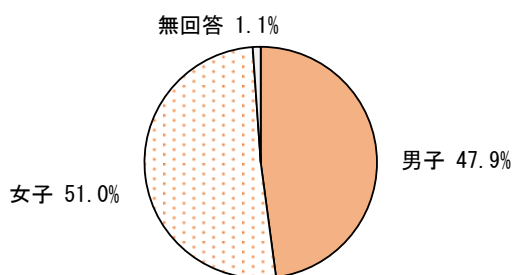
Ⅲ 幼児・小学生調査結果

1. 基本属性

(1) 子どもの性別

F 1-1 お子さんの性別は。(○は1つだけ)

子どもの性別

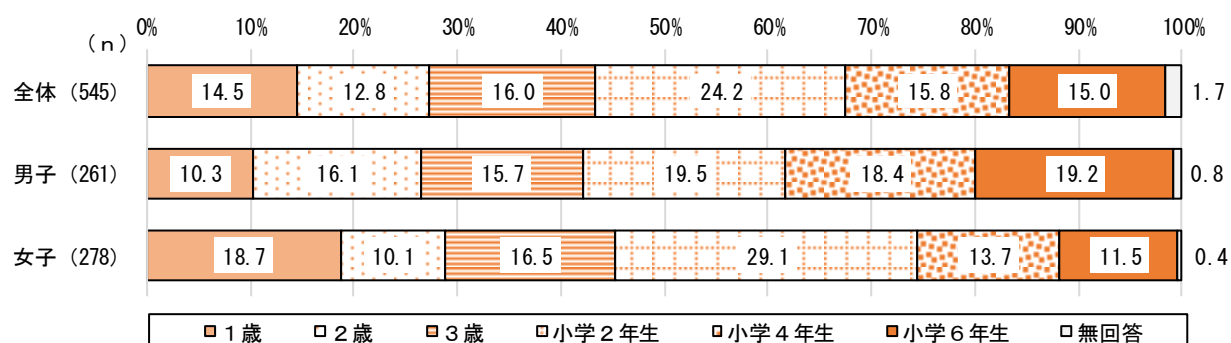


n = 545

(2) 子どもの年齢

F 1-2 お子さんの年齢は。

子どもの年齢

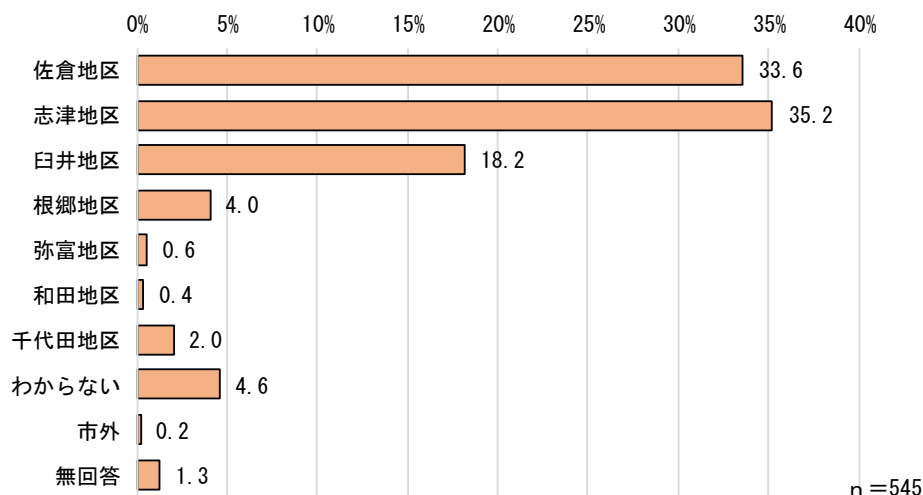


第2章 調査結果の詳細

(3) 居住地域

F 1-3 お住まいの地区は。(○は1つだけ)

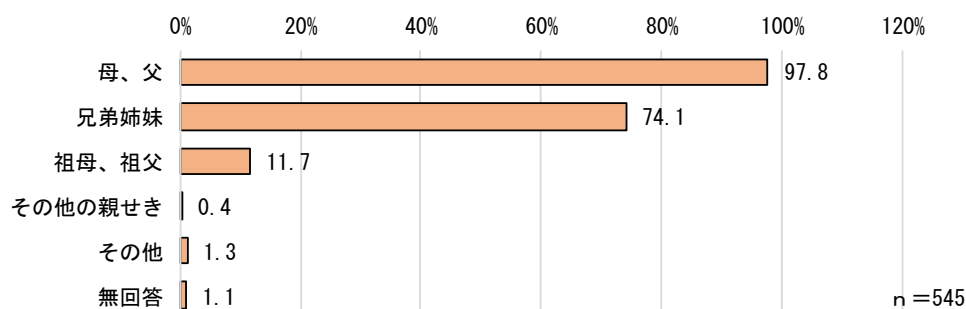
居住地域



(4) 同居者

F 1-4 お子さんから見た続柄で、現在の同居者をすべて選んでください。(○はいくつでも)

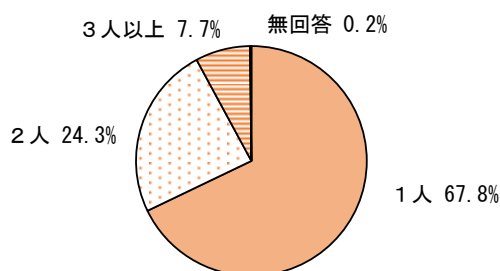
同居者



F 1-4-1 (F 1-4で「兄弟姉妹」に○をつけた人のみ)

お子さんには、兄弟姉妹が何人いますか。(このアンケートの対象となったお子さん本人を除く。○はひとつだけ)

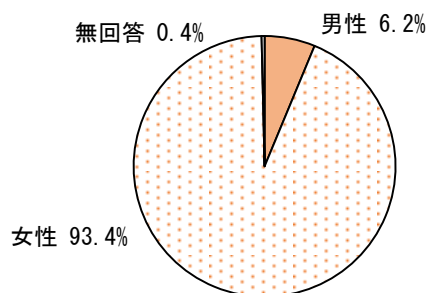
きょうだいの人数



(5) 記入者の性別

F 2-1 あなたの性別は。(○は1つだけ)

記入者の性別

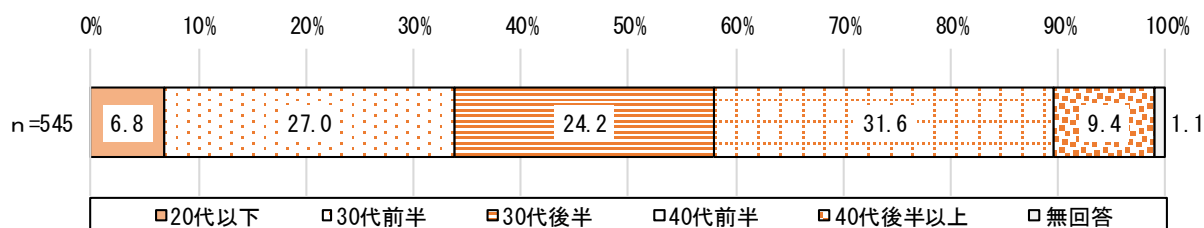


n = 545

(6) 記入者の年齢

F 2-2 あなたの年齢は。

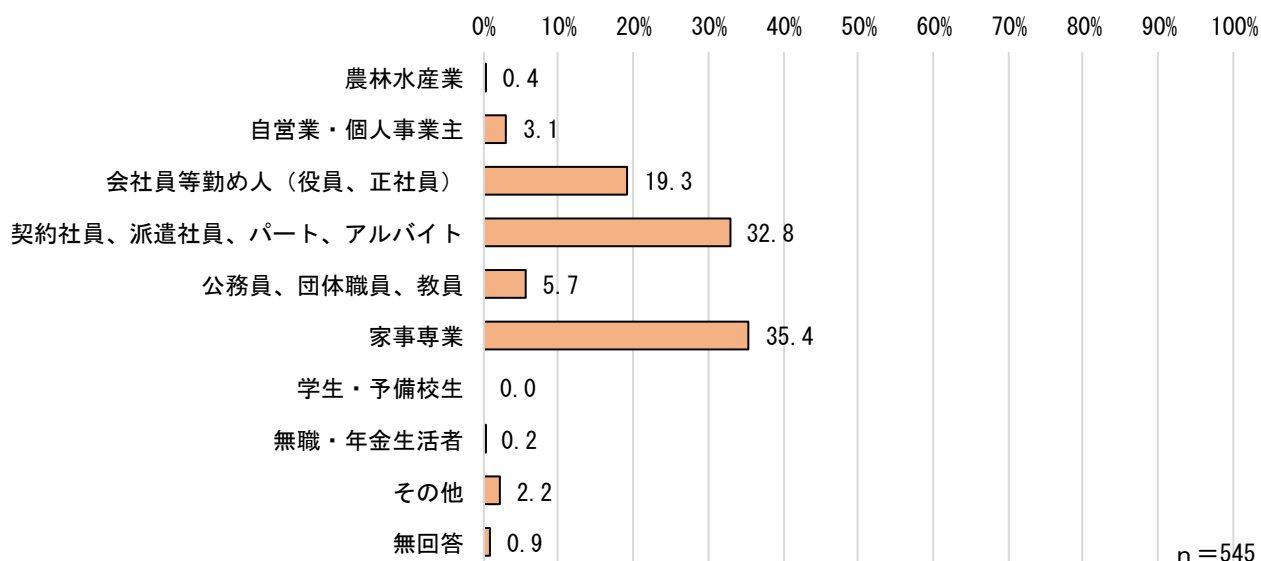
記入者の年齢



(7) 記入者の職業

F 2-3 あなたの職業は。(○は1つだけ)

記入者の職業



n = 545

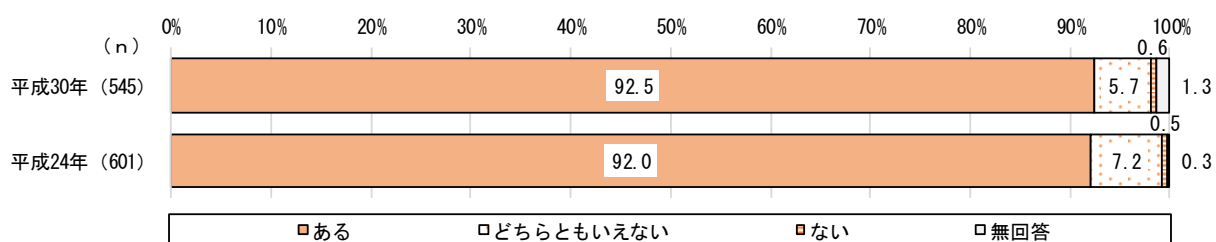
2. 健康についての考え方

(1) 自分や家族の健康への関心

問1 あなたは、自分や家族の健康に関心がありますか。(○は1つだけ)

自分や家族の健康への関心は、「ある」が92.5%、「ない」は0.6%となっています。
平成24年の調査結果と大きな差はありません。

自分や家族の健康への関心／前回

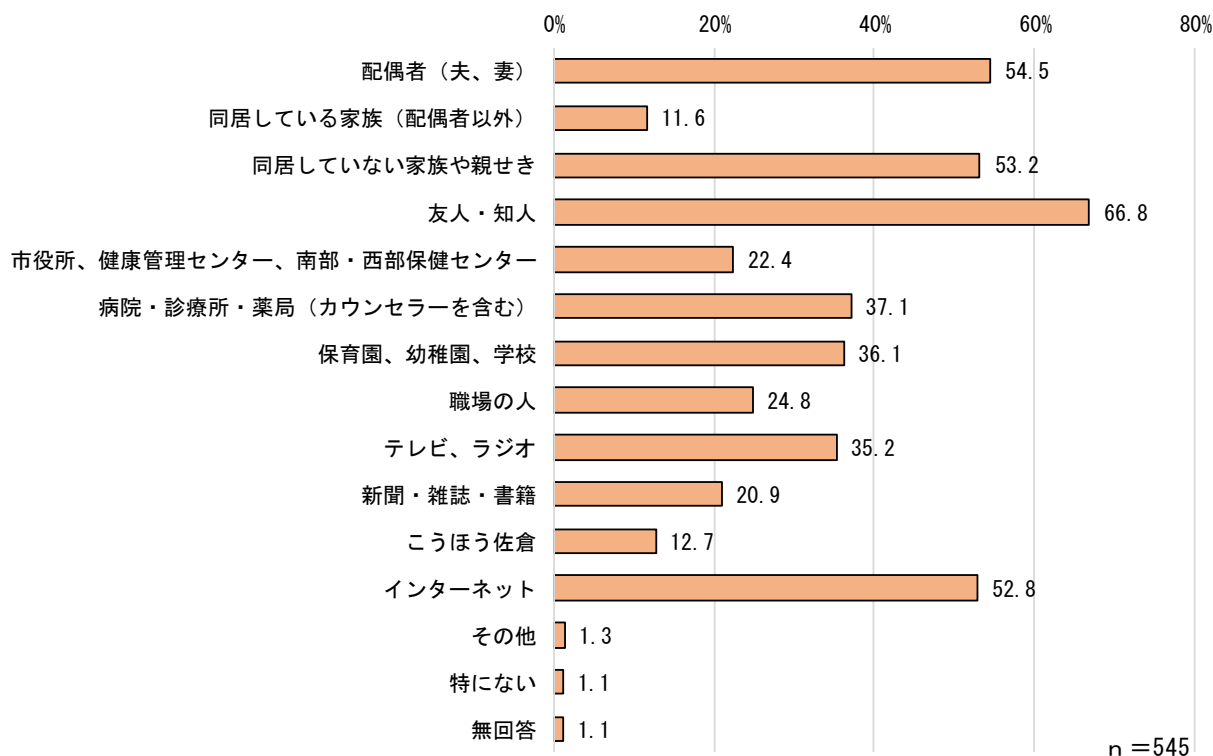


問2 ふだん、どこ(だれ)に、妊娠・出産・育児やお子さんの健康に関する情報を聞いていますか。(〇はいくつでも)

妊娠・出産・育児や子どもの健康に関する情報源は、「友人・知人」が66.8%と最も高く、次いで「配偶者(夫、妻)」が54.5%、「同居していない家族や親せき」が53.2%となっています。

幼児・小学生別にみると、<幼児>は「同居していない家族や親せき」が60.9%となっています。<小学生>は、「職場の人」が28.9%、「テレビ、ラジオ」が39.9%となっています。

妊娠・出産・育児や子どもの健康に関する情報源／幼児・小学生



(n)	配偶者(夫、妻)	同居している家族(配偶者以外)	同居していない家族や親せき	友人・知人	市役所、健康管理センター、南部・西部保健センター	病院・診療所・薬局(カウンセラーを含む)	保育園、幼稚園、学校	職場の人	テレビ、ラジオ	新聞・雑誌・書籍	こうほう佐倉	インターネット	その他	特にない
全体(545)	54.3	11.6	53.2	66.8	22.4	37.1	36.1	24.8	35.2	20.9	12.7	52.8	1.3	1.1
幼児(238)	62.6	10.9	60.9	68.1	30.7	37.0	44.1	19.7	29.8	19.7	13.0	59.2	2.5	0.8
小学生(301)	48.5	12.3	47.8	66.8	15.9	37.5	30.2	28.9	39.9	22.3	12.6	48.5	0.3	1.3

(%)

3. 栄養・食生活

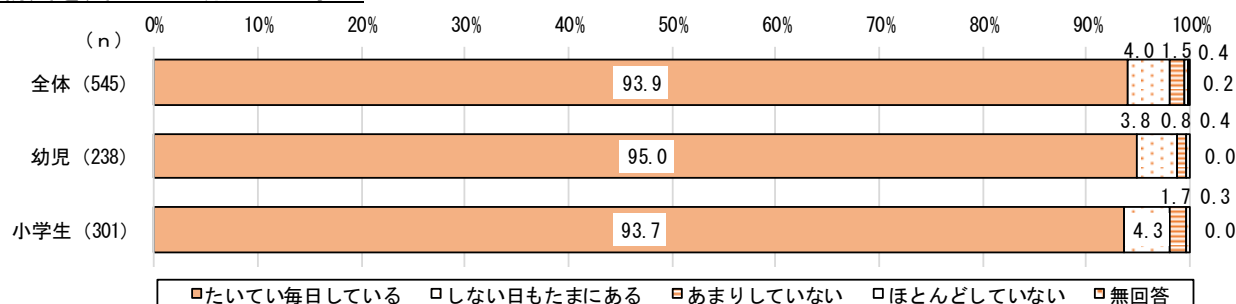
(1) 子どもの食生活

問3 あなたは、お子さんの食生活に関して、ふだん、次のそれぞれのことをどのくらいしていますか。(それぞれについて、当てはまる番号1つだけに○)

朝食を食べる

朝食を食べるは、「たいてい毎日している」が93.9%、「しない日もたまにある」が4.0%となっています。「ほとんどしていない」は0.4%となっています。

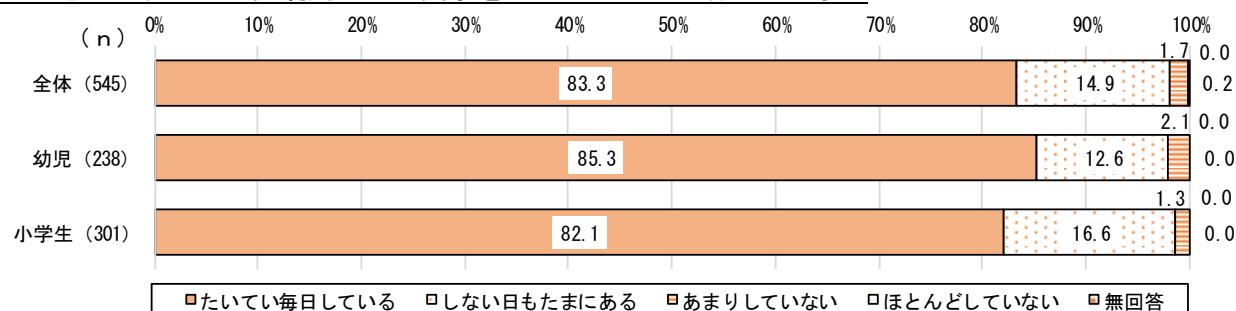
朝食を食べる／幼児・小学生



お子さんに、1日3回規則正しい食事を心がけている

お子さんに、1日3回規則正しい食事を心がけているは、「たいてい毎日している」が83.3%、「しない日もたまにある」が14.9%となっています。

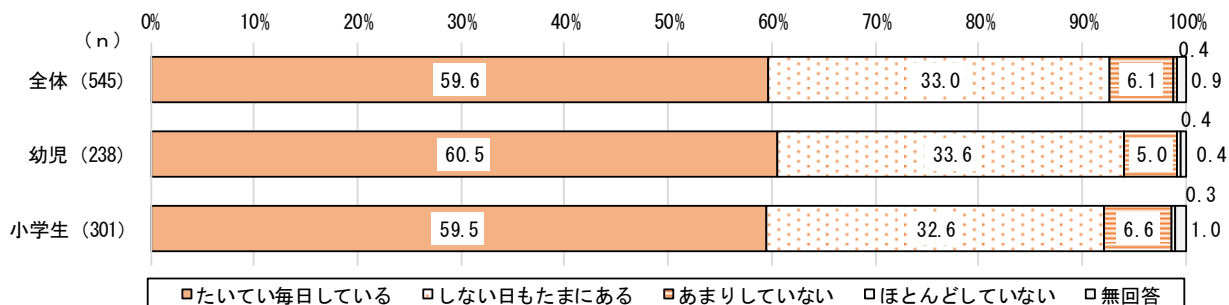
お子さんに、1日3回規則正しい食事を心がけている／幼児・小学生



お子さんの健康づくりのために、栄養や食事について考える

お子さんの健康づくりのために、栄養や食事について考えるは、「たいてい毎日している」が59.6%、「しない日もたまにある」は33.0%となっています。

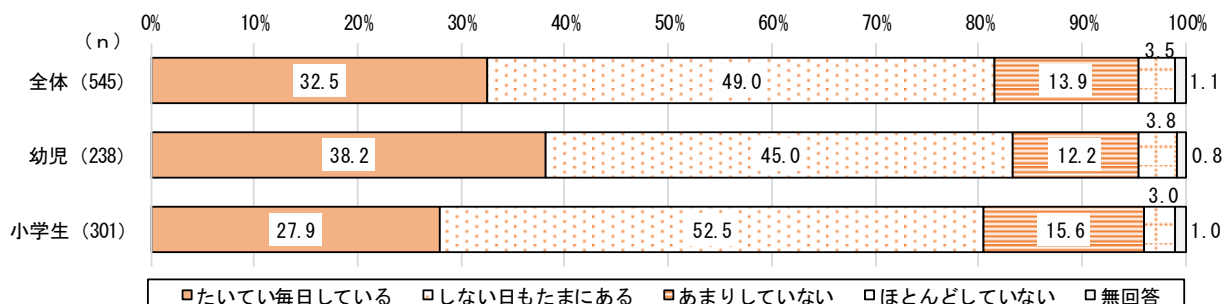
お子さんの健康づくりのために、栄養や食事について考える／幼児・小学生



毎食（3食）、野菜料理を食べさせる

毎食（3食）、野菜料理を食べさせるは、「しない日もたまにある」が49.0%、「たいてい毎日している」が32.5%となっています。

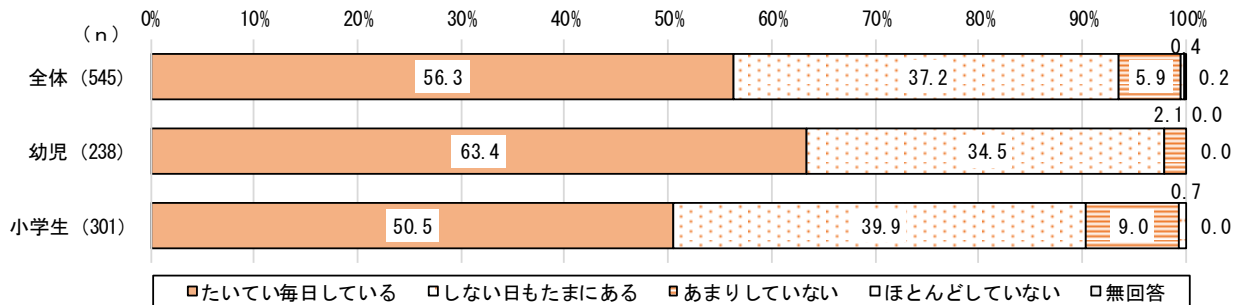
毎食（3食）、野菜料理を食べさせる／幼児・小学生



カルシウムが多い食品（乳製品・豆類・緑黄色野菜など）をとらせている

カルシウムが多い食品（乳製品・豆類・緑黄色野菜など）をとらせているは、「たいてい毎日している」は56.3%、「しない日もたまにある」は37.2%となっています。

カルシウムが多い食品（乳製品・豆類・緑黄色野菜など）をとらせている／幼児・小学生



第2章 調査結果の詳細

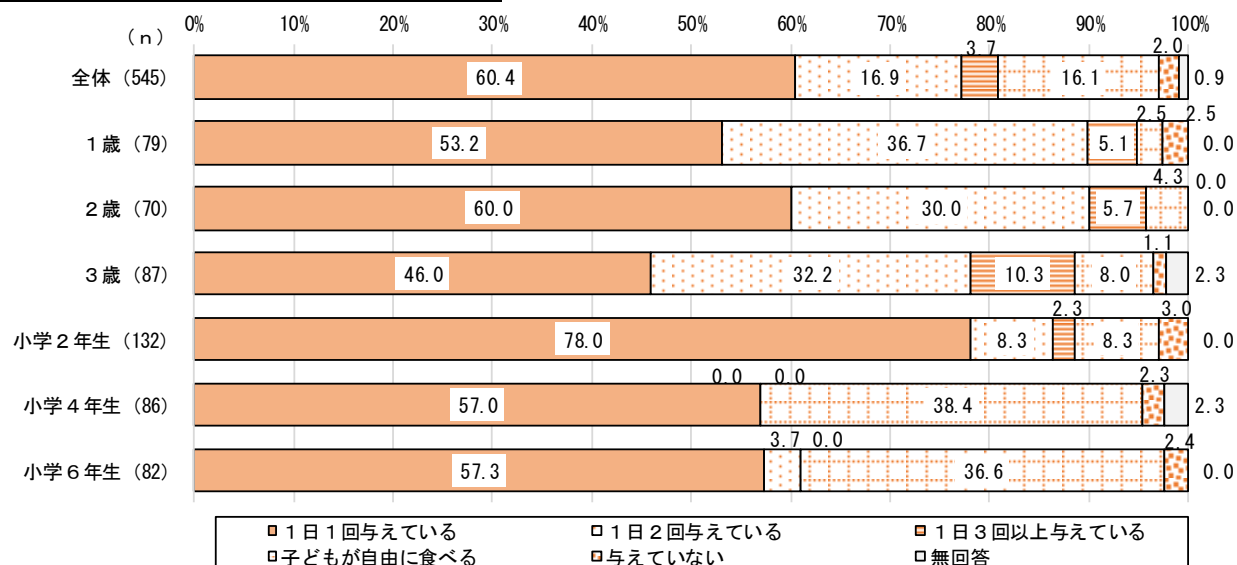
(2) おやつ

問4 おやつは与えていますか。(○は1つだけ)

おやつの与え方は、「1日1回与えている」が60.4%と最も高く、次いで「1日2回与えている」が16.9%、「子どもが自由に食べる」が16.1%となっています。

子どもの年齢(学年)別にみると、<1歳>と<2歳>、<3歳>は、「1日2回与えている」が約3割となっています。<小学2年生>は「1日1回与えている」が78.0%と全体で最も高く、<小学4年生>と<小学6年生>は、「子どもが自由に食べている」が約4割となっています。

おやつの与え方／子どもの年齢(学年)



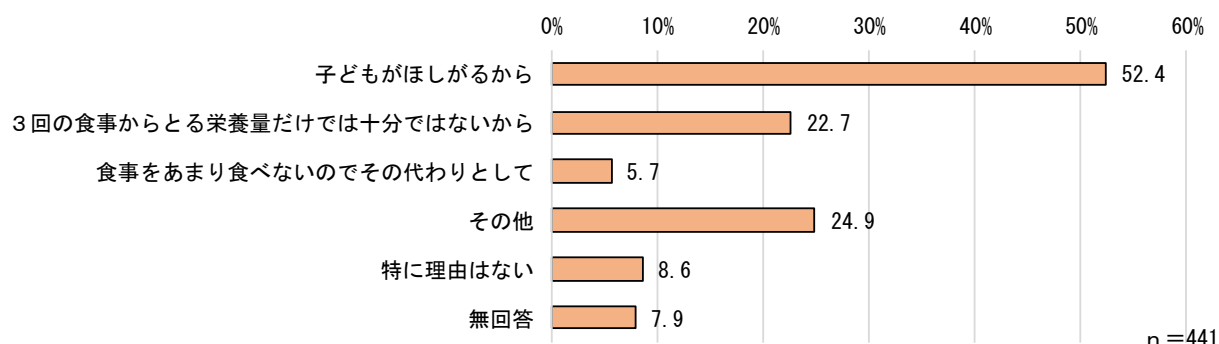
付問4-1 「1日1回～3回以上与えている」と回答した人のみ

おやつを与えている理由は何ですか。(〇はいくつでも)

おやつを与えている理由は、「子どもがほしががるから」が52.4%と最も高くなっており、次いで「3回の食事からとる栄養量だけでは十分ではないから」が22.7%となっています。

子どもの年齢(学年)別にみると、<2歳>、<小学2年生>、<小学4年生>、<小学6年生>の半数以上が「子どもがほしががるから」となっています。<1歳>と<2歳>、<小学6年生>は、「3回の食事からとる栄養量だけでは十分ではないから」が約3割～4割、<1歳>と<2歳>は、「食事をあまり食べないのでその代わりとして」が約1割となっています。

おやつを与えている理由/子どもの年齢(学年)



(n)	子どもがほしががるから	3回の食事からとる栄養量だけでは十分ではないから	食事をあまり食べないのでその代わりとして	その他	特に理由はない	無回答
全体 (441)	52.4	22.7	5.7	24.9	8.6	7.9
1歳 (75)	45.3	40.0	10.7	16.0	8.0	10.7
2歳 (67)	56.7	35.8	11.9	26.9	4.5	1.5
3歳 (77)	42.9	15.6	3.9	31.2	11.7	11.7
小学2年生 (117)	58.1	11.1	2.6	24.8	7.7	10.3
小学4年生 (49)	55.1	12.2	4.1	20.4	12.2	6.1
小学6年生 (50)	60.0	30.0	0.0	28.0	10.0	2.0

(%)

第2章 調査結果の詳細

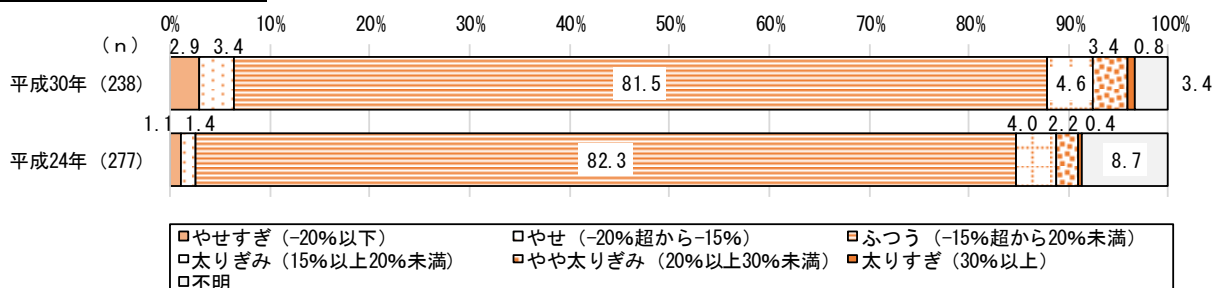
(3) 肥満度

問5 お子さんのおよその身長、体重を整数で教えてください。(小数点以下は四捨五入してください)

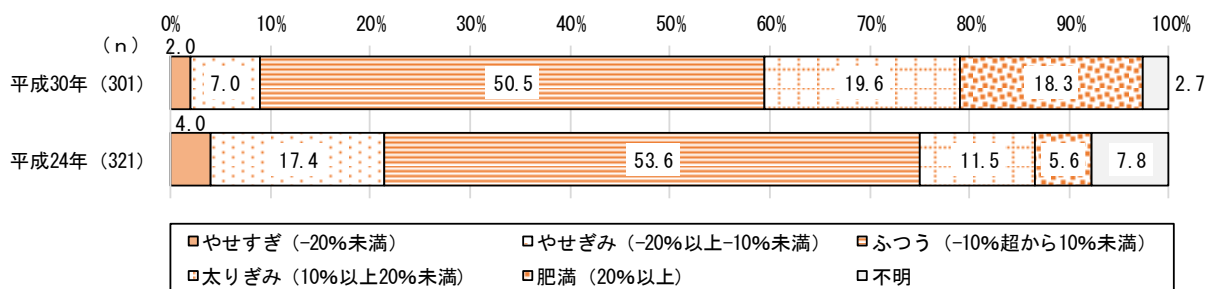
肥満度は、幼児は「ふつう」が81.5%、小学生は50.5%となっています。

幼児の平成24年調査結果と比較すると、幼児は、「やせすぎ」が1.8ポイント、「やせ」が2ポイント増加しています。小学生は「やせすぎ」が2ポイント、「やせ」が10.4ポイント減少、「太りすぎ」が8.1ポイント増加、「肥満」が12.7ポイント増加しています。

肥満度（幼児）／前回



肥満度（小学生）／前回



4. 身体活動・運動

(1) 子どもの外遊び

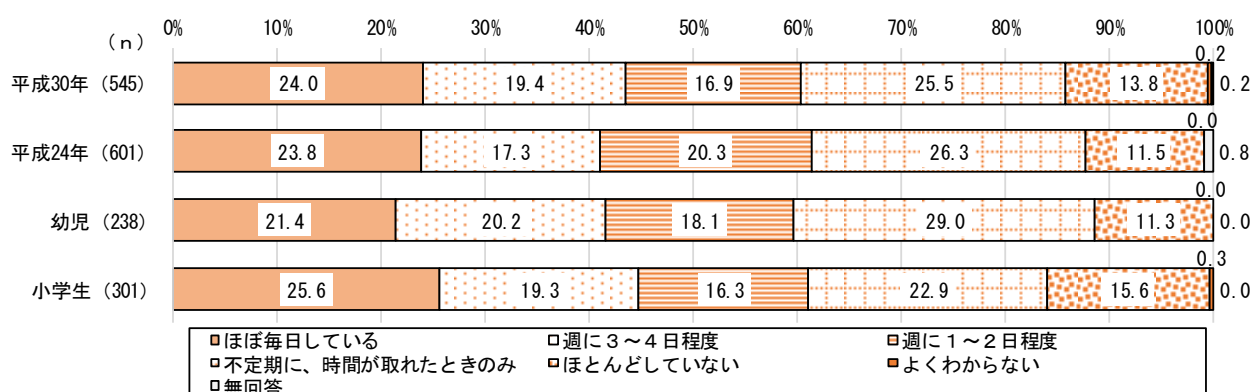
問6 お子さんは、どのくらい外遊びをしますか。(保育園、幼稚園、学校などに通っている場合は、帰宅してからの時間の外遊び) (○は1つだけ)

子どもの外遊びの頻度は、「不定期に、時間が取れたときのみ」が25.5%と最も高く、次いで「ほぼ毎日している」が24.0%となっています。

平成24年調査結果と比較すると、大きな差はありませんが、「ほとんどしていない」は2.3ポイント増加しています。

幼児・小学生別にみると、<小学生>は「ほぼ毎日している」が25.6%、<幼児>は「不定期に、時間が取れたときのみ」が29.0%と全体で最も高くなっています。

子どもの外遊びの頻度／前回、幼児・小学生



5. 休養・こころの健康づくり

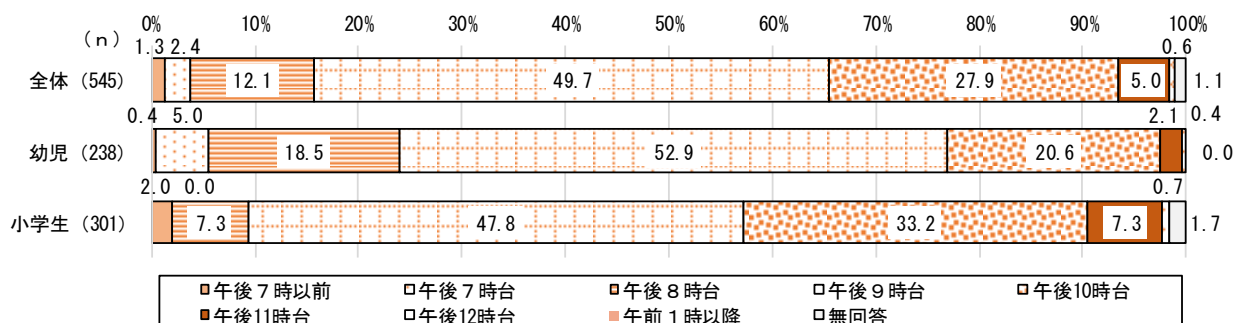
(1) 子どもの睡眠時間

問7 お子さんの就寝時間と起床時間を24時間表記(例:夜11時なら23時など)でお答えください。

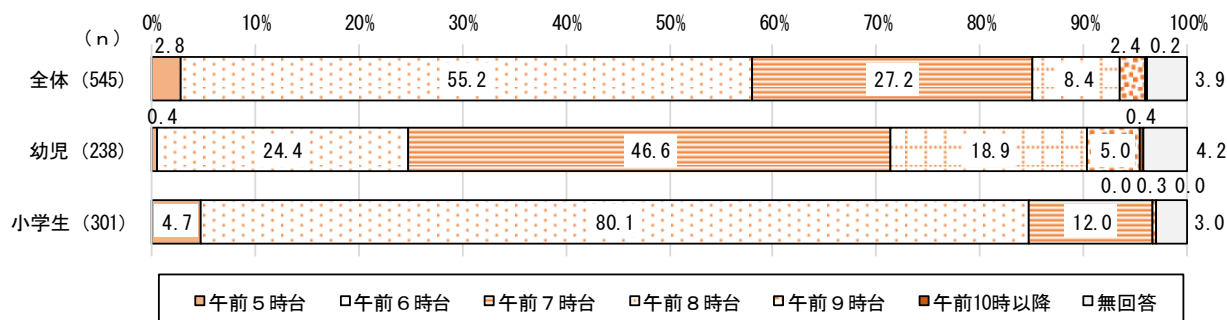
子どもの就寝時間は、<小学生>は「午後9時台」が47.8%、「午後10時台」が33.2%となっています。幼児では、「午後9時台」が半数以上となっています。

起床時間は、幼児の4割以上は「午前7時台」、小学生の約8割が「午前6時台」となっています。

子どもの就寝時間／幼児・小学生



子どもの起床時間／幼児・小学生



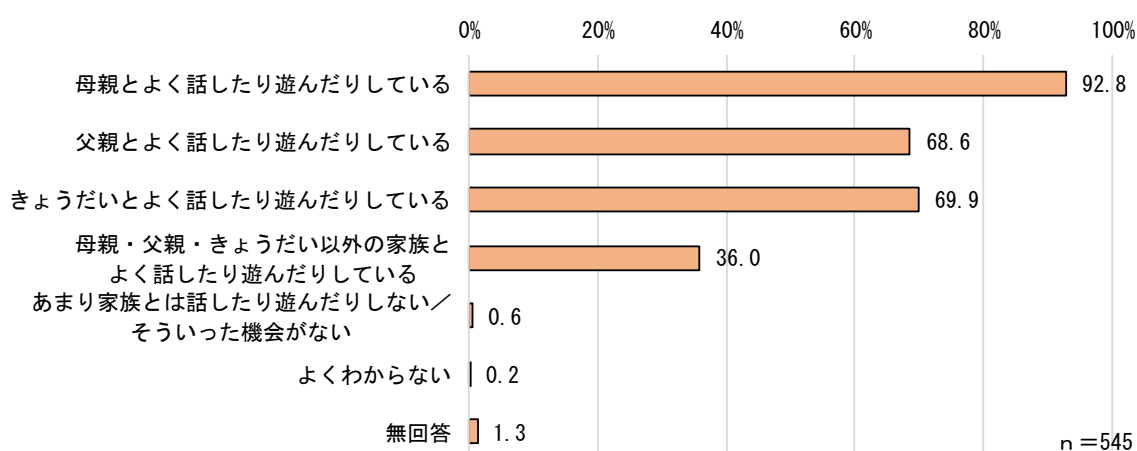
問8 あなたのご家族とお子さんのコミュニケーションの状況について、主に当てはまるものを選んでください。(お子さんからみた続柄でお答えください)(〇はいくつでも)

子どもとのコミュニケーションは、「母親とよく話したり遊んだりしている」が92.8%と最も高く、次いで「きょうだいとよく話したり遊んだりしている」が69.9%となっています。

性別にみると、＜女子＞は「きょうだいとよく話したり遊んだりしている」が73.4%と、＜男子＞の66.7%を上回っています。

幼児・小学生別にみると、＜男子 幼児＞と＜女性 幼児＞は「父親とよく話したり遊んだりしている」が7割以上となっています。＜男子 小学生＞は、「あまり家族とは話したり遊んだりしない／そういった機会がない」が1.3%となっています。

子どもとのコミュニケーション／性別・性、幼児・小学生



(n)	母親とよく話したり遊んだりしている	父親とよく話したり遊んだりしている	きょうだいとよく話したり遊んだりしている	母親・父親・きょうだい以外の家族とよく話したり遊んだりしている	あまり家族とは話したり遊んだりしない／そういった機会がない	よくわからない	無回答
全体 (545)	92.8	68.6	69.9	36.0	0.6	0.2	1.3
男子 (261)	92.7	69.0	66.7	36.8	0.8	0.4	0.4
男子 幼児 (112)	97.3	78.6	62.5	38.4	0.0	0.9	0.0
小学生 (149)	89.3	61.7	69.8	35.6	1.3	0.0	0.7
女子 (278)	93.2	68.3	73.4	35.3	0.4	0.0	1.8
女子 幼児 (126)	94.4	71.4	66.7	46.8	0.0	0.0	1.6
小学生 (152)	92.1	65.8	78.9	25.7	0.7	0.0	2.0

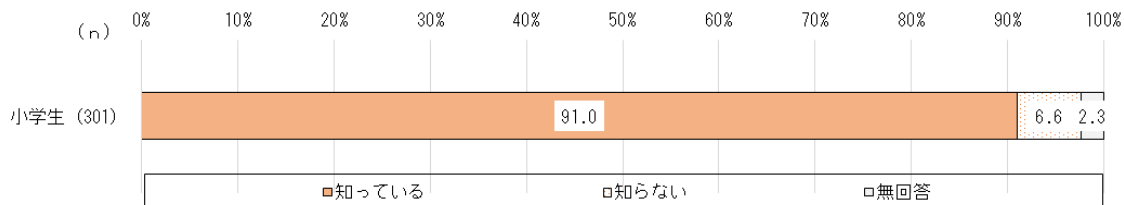
(%)

第2章 調査結果の詳細

問9 小学生の保護者の方におたずねします。お子さんは、不安や悩みを感じた時の相談先や相談方法を知っていますか。

不安や悩みの相談先や相談方法の認知度は、「知っている」が91.0%になっています。

子どもの相談先や相談方法／小学生



6. たばこ

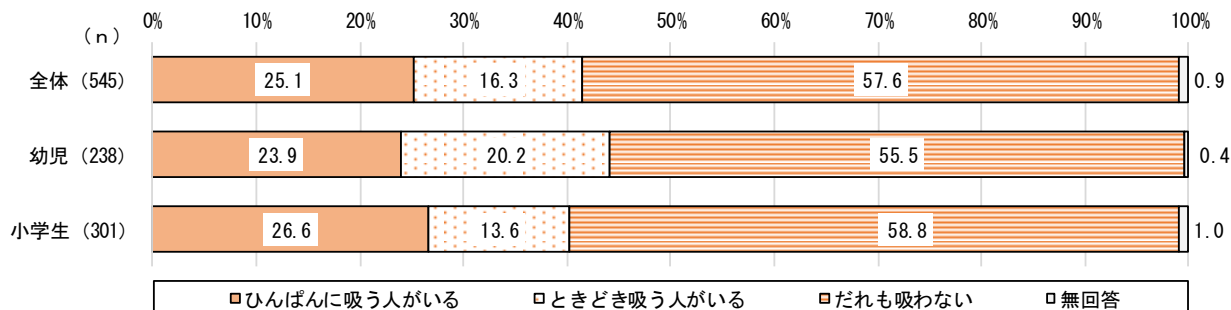
(1) 家族の喫煙状況

問10 家族の方は、たばこを吸いますか。(○は1つだけ)

家族における喫煙者の有無は、「だれも吸わない」が57.6%と最も高く、次いで「ひんぱんに吸う人がいる」が25.1%となっています。

幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は「ときどき吸う人がいる」が20.2%となっています。

家族における喫煙者の有無／幼児・小学生

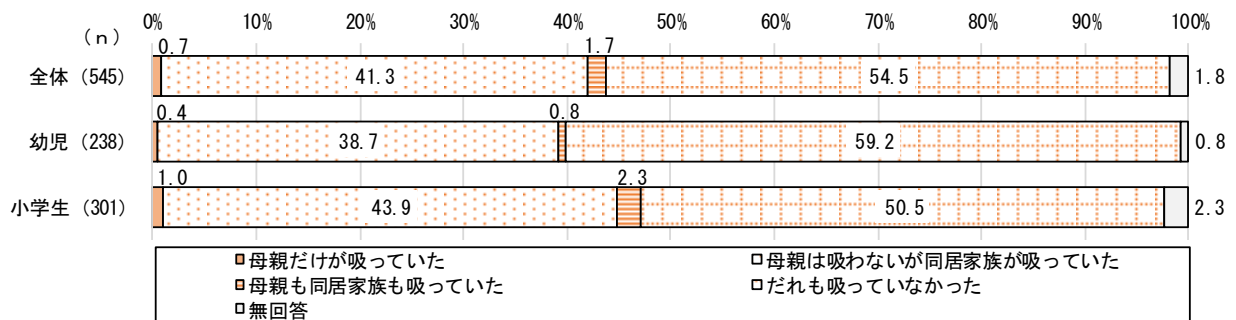


問11 お子さんを妊娠していた期間、お母さんや同居家族はたばこを吸っていましたか。(○は1つだけ)

妊娠中の母親・同居家族の喫煙状況は、「だれも吸っていなかった」が54.5%と最も高く、次いで「母親は吸わないが同居家族が吸っていた」は41.3%となっています。

幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は、「だれも吸っていなかった」が59.2%と＜小学生＞の50.5%を上回っています。

妊娠中の母親・同居家族の喫煙状況／幼児・小学生

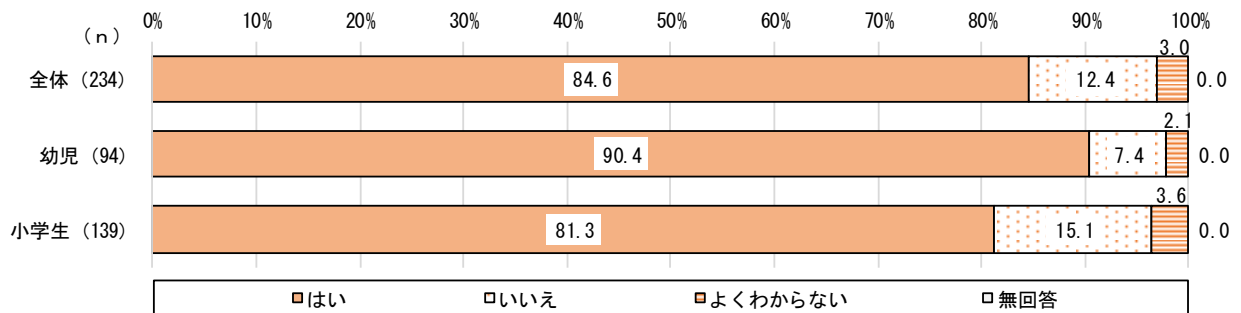


付問11-1 (問11で「吸っていた」同居家族がいた家庭のみ) 妊娠しているお母さんの前では吸わないようにしていましたか。(○は1つだけ)

同居家族は妊娠中の母親の前で喫煙しないようにしていたかは、「はい」が84.6%、「いいえ」が12.4%となっています。

幼児・小学生別にみると、＜小学生＞は「いいえ」が15.1%と＜幼児＞の7.4%より高くなっています。

同居家族は妊娠中の母親の前で喫煙しないようにしていたか／幼児・小学生



7. アルコール

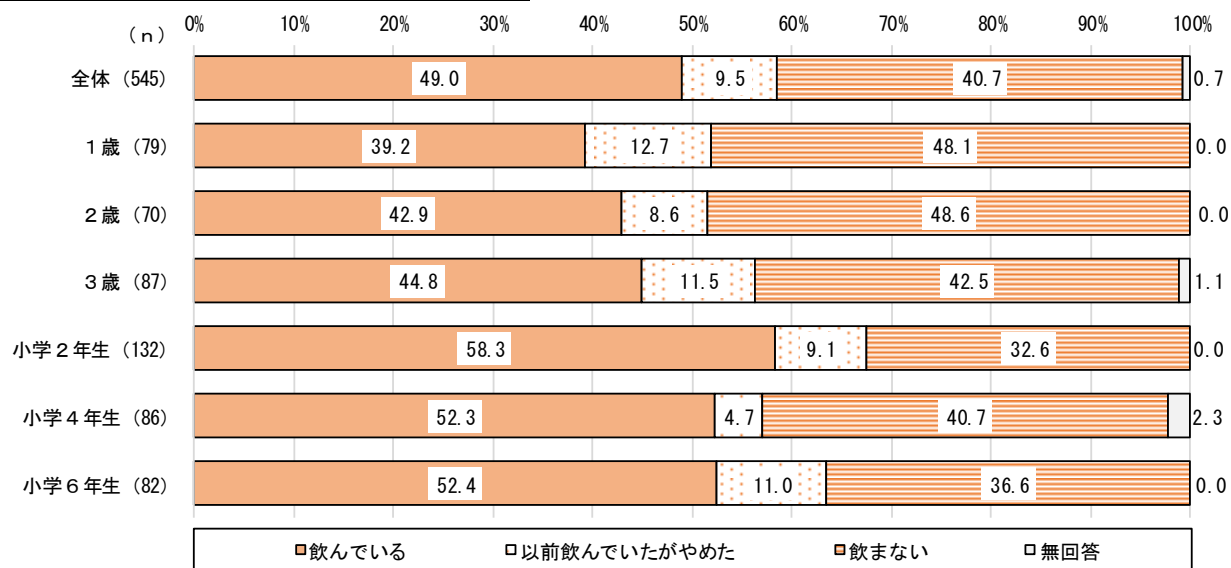
(1) 記入者の飲酒状況

問12 あなたは、アルコールを飲みますか。(○は1つだけ)

記入者の飲酒状況は、「飲んでいる」は49.0%、「飲まない」は40.7%となっています。

子どもの年齢(学年)別にみると、<1歳>と<2歳>、<3歳>は「飲んでいる」が5割以下となっているのに対し、<小学2年生>と<小学4年生>、<小学6年生>は「飲んでいる」が5割以上となっています。

記入者の飲酒状況／子どもの年齢(学年)



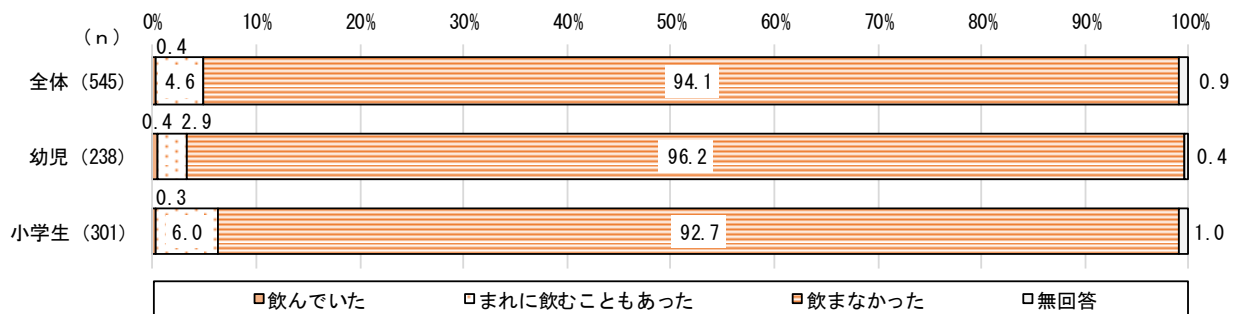
問13 お子さんを妊娠していた期間、お母さんはアルコールを飲んでいましたか。(〇は1つだけ)

妊娠中の母親の飲酒状況は、「飲まなかった」は94.1%、「まれに飲むこともあった」が4.6%となっています。

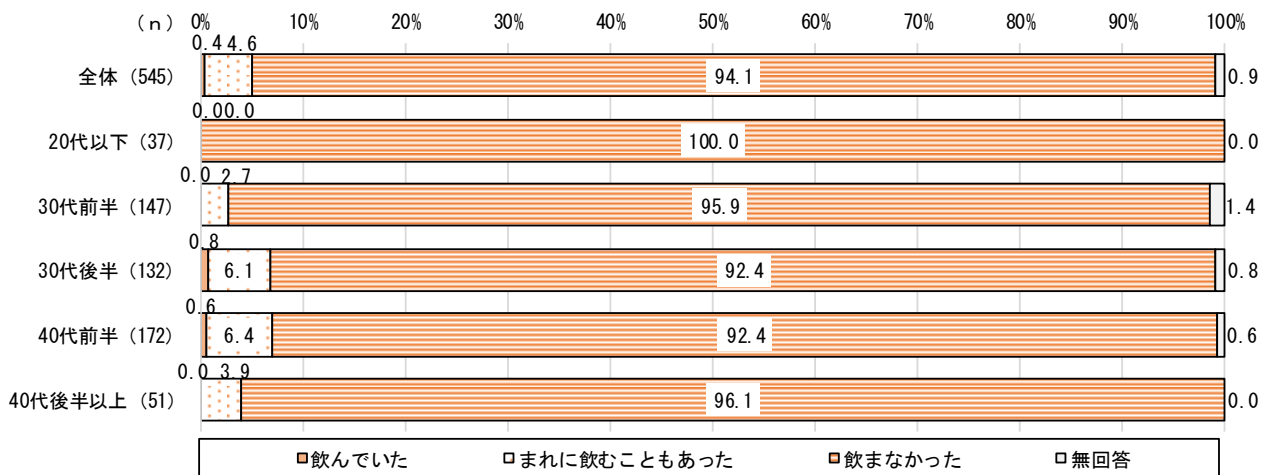
子どもの年齢(学年)別にみると、<小学生>は「まれに飲むこともあった」が6.0%と<幼児>の2.9%より高くなっています。

記入者の年齢別にみると、<20代以下>は「飲まなかった」が100%となっています。<30代後半>と<40代前半>は「まれに飲むこともあった」が約6%となっています。

妊娠中の母親の飲酒状況／幼児・小学生



妊娠中の母親の飲酒状況／記入者の年齢



第2章 調査結果の詳細

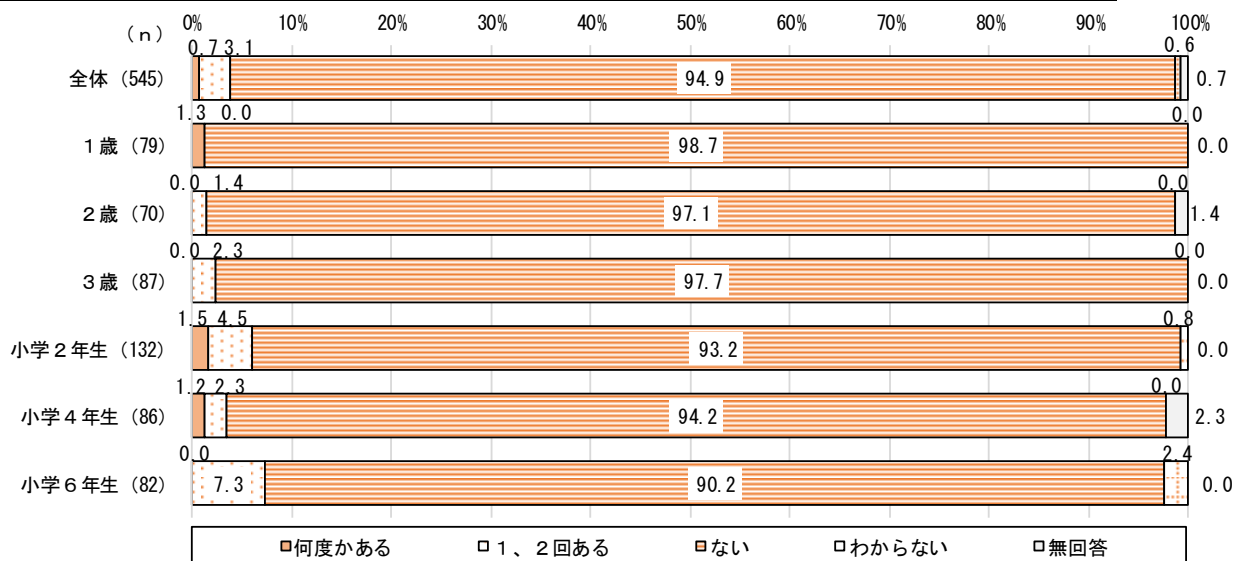
問14 お子さんに対して、自分や家族、親せきなどがアルコールをすすめたり飲ませたりしたことはありますか。(〇は1つだけ)

子どもにアルコールをすすめた経験の有無は、「ない」が94.9%、「何度かある」と「1、2回ある」の合計が3.8%となっています。

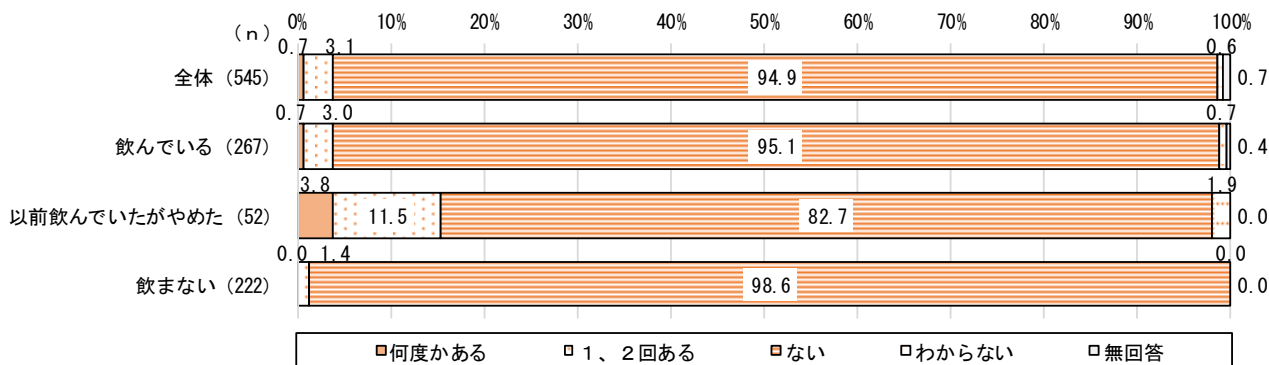
子どもの年齢(学年)別にみると、小学生ではアルコールをすすめた経験がある比率がやや高くなっています。

記入者の飲酒状況別にみると、<以前、飲んでいたがやめた>の「何度かある」と「1、2回ある」の合計が、15.3%と高くなっています。

子どもにアルコールをすすめた経験の有無(本人・家族・親戚) / 子どもの年齢(学年)



子どもにアルコールをすすめた経験の有無(本人・家族・親戚) / 記入者の飲酒状況



8. 歯の健康

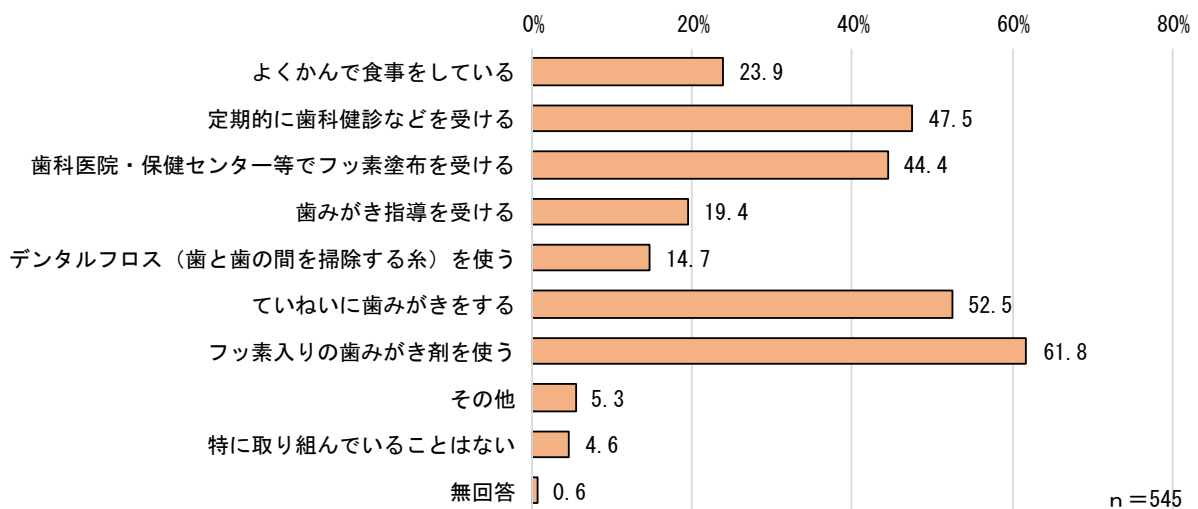
(1) 歯や歯ぐきの健康のための取組み

問15 ふだん、お子さんの歯や歯ぐきの健康のために、どのようなことに取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

子どもの歯や歯ぐきの健康のための取組みは、「フッ素入りの歯みがき剤を使う」が61.8%と最も高く、次いで「ていねいに歯みがきをする」が52.5%となっています。

子どもの年齢(学年)別にみると、小学生が「定期的に歯科健診などを受ける」が半数を超えています。

子どもの歯や歯ぐきの健康のための取組み／子どもの年齢(学年)



(n)	よくかんで食事をしている	定期的に歯科健診などを受ける	歯科医院・保健センター等でフッ素塗布を受ける	歯みがき指導を受ける	デンタルフロス(歯と歯の間を掃除する糸)を使う	ていねいに歯みがきをする	フッ素入りの歯みがき剤を使う	その他	特に取り組んでいることはない	無回答
全体 (545)	23.9	47.5	44.4	19.4	14.7	52.5	61.8	5.3	4.6	0.6
1歳 (79)	24.1	25.3	31.6	21.5	5.1	69.6	58.2	5.1	2.5	0.0
2歳 (70)	28.6	37.1	72.9	22.9	10.0	67.1	52.9	4.3	1.4	0.0
3歳 (87)	27.6	44.8	64.4	23.0	18.4	66.7	70.1	3.4	2.3	0.0
小学2年生 (132)	22.0	56.8	35.6	20.5	21.2	50.8	68.2	5.3	5.3	0.0
小学4年生 (86)	24.4	61.6	37.2	10.5	16.3	34.9	58.1	7.0	2.3	2.3
小学6年生 (82)	17.1	51.2	32.9	18.3	9.8	28.0	59.8	7.3	13.4	0.0

(%)

9. 子育て

(1) 子育てに関する考え

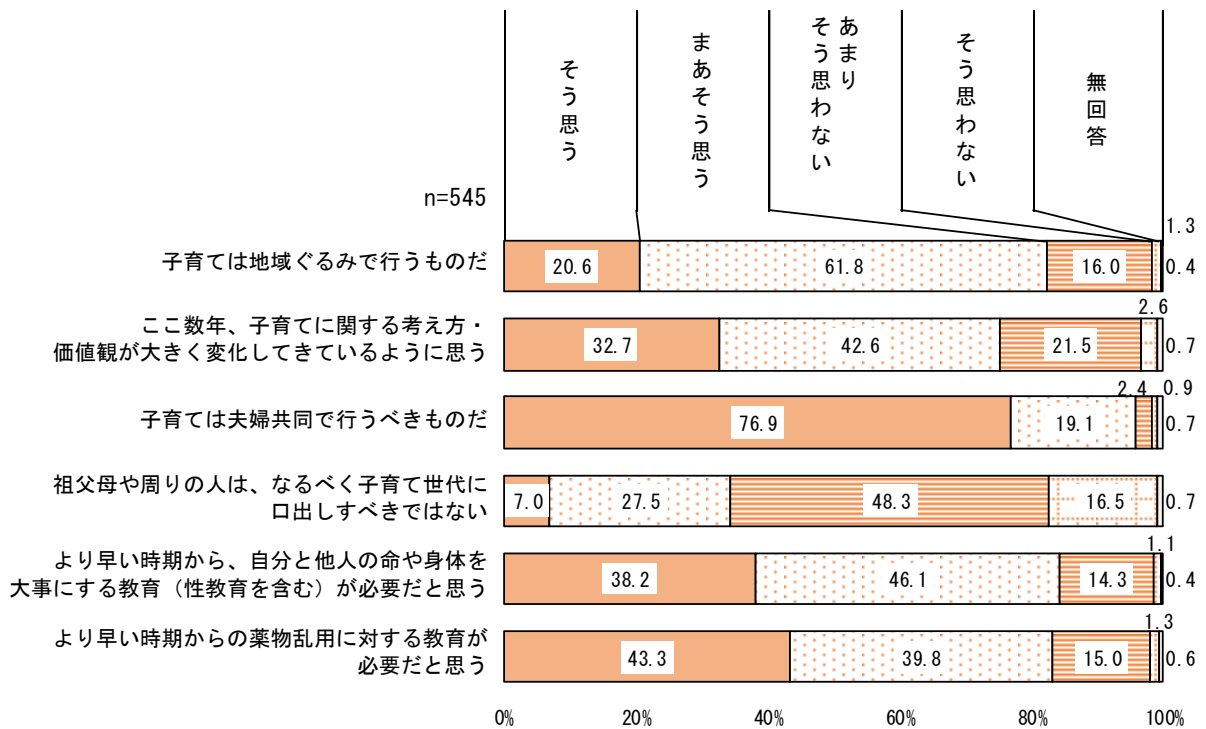
問16 以下のそれぞれの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号を選んでください。(それぞれについて、当てはまる番号1つだけに○)

子育てに関する考えをみると、<子育ては夫婦共同で行うべきものだ>は、「そう思う」が76.9%、「まあそう思う」が19.1%、合計96.0%となっています。

<祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない>は、「あまりそう思わない」は48.3%となっています。

<子育ては地域ぐるみで行うものだ>と<より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思う>、<より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う>は、「そう思う」と「まあそう思う」の合計は約8割となっています。

子育てに関する考え



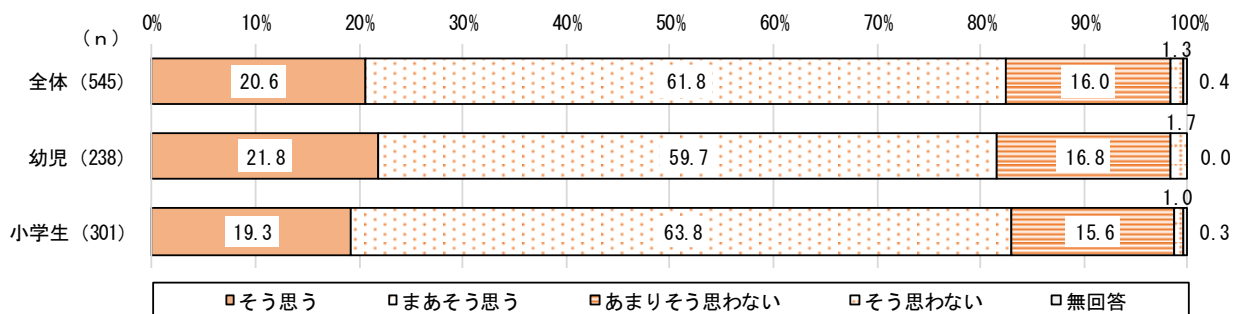
子育ては地域ぐるみで行うものだ

子育ては地域ぐるみで行うものだけは、「まあそう思う」が61.8%と最も高く、次いで「そう思う」が20.6%となっています。

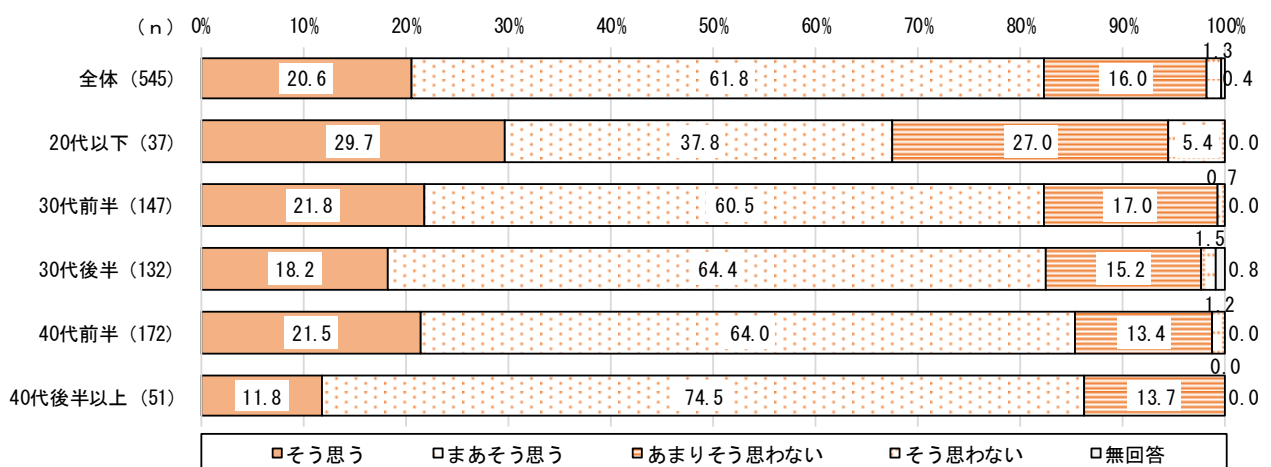
幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は「そう思う」が21.8%、＜小学生＞の19.3%よりやや高くなっています。

記入者の年齢別にみると、＜20代以下＞は「そう思う」が29.7%と全体で最も多い一方で、「あまりそう思わない」が27.0%、「そう思わない」も5.4%と最も高くなっています。

子育ては地域ぐるみで行うものだ／幼児・小学生



子育ては地域ぐるみで行うものだ／記入者の年齢



第2章 調査結果の詳細

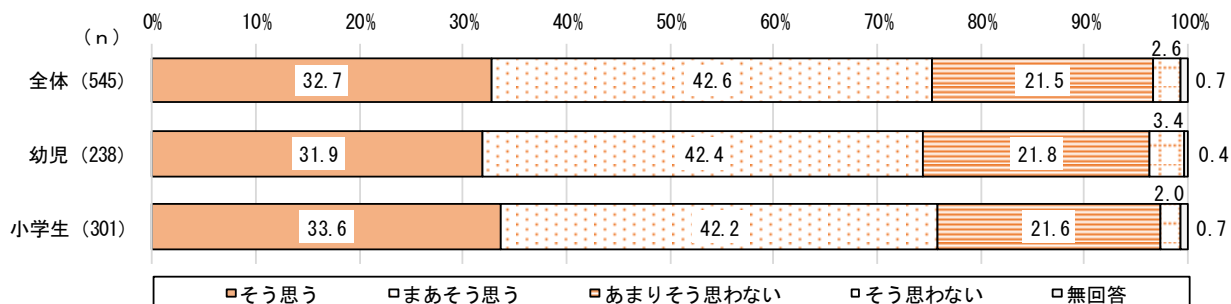
ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思う

ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思うは、「まあそう思う」が42.6%、「そう思う」が32.7%となっています。

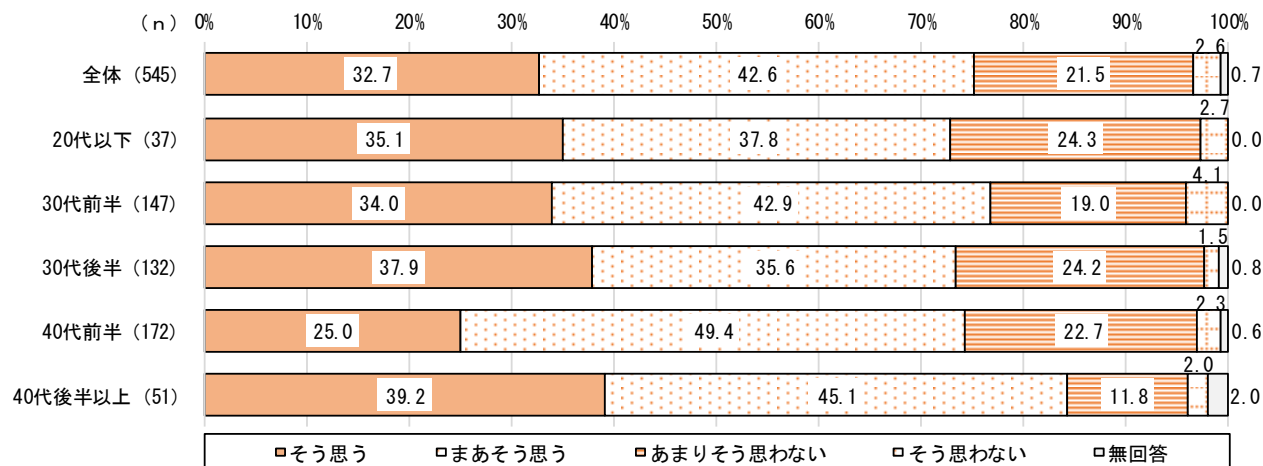
幼児・小学生別にみると、＜小学生＞は「そう思う」が33.6%と、＜幼児＞の31.9%よりやや高くなっています。

記入者の年齢別にみると、＜40代後半以上＞は「そう思う」が39.2%と全体で最も高くなっており、「そう思う」と「まあそう思う」の合計は84.3%となっています。

ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思う／幼児・小学生



ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思う／記入者の年齢



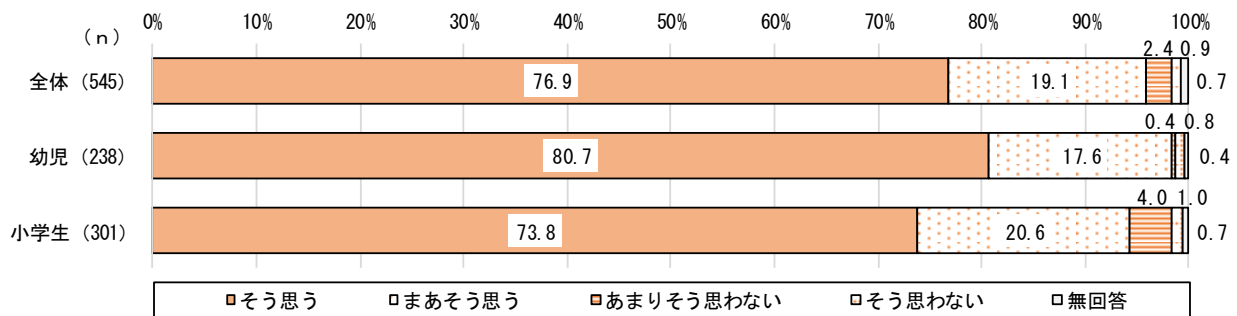
子育ては夫婦共同で行うべきものだ

子育ては夫婦共同で行うべきものだけは、「そう思う」は76.9%、「まあそう思う」は19.1%となっています。

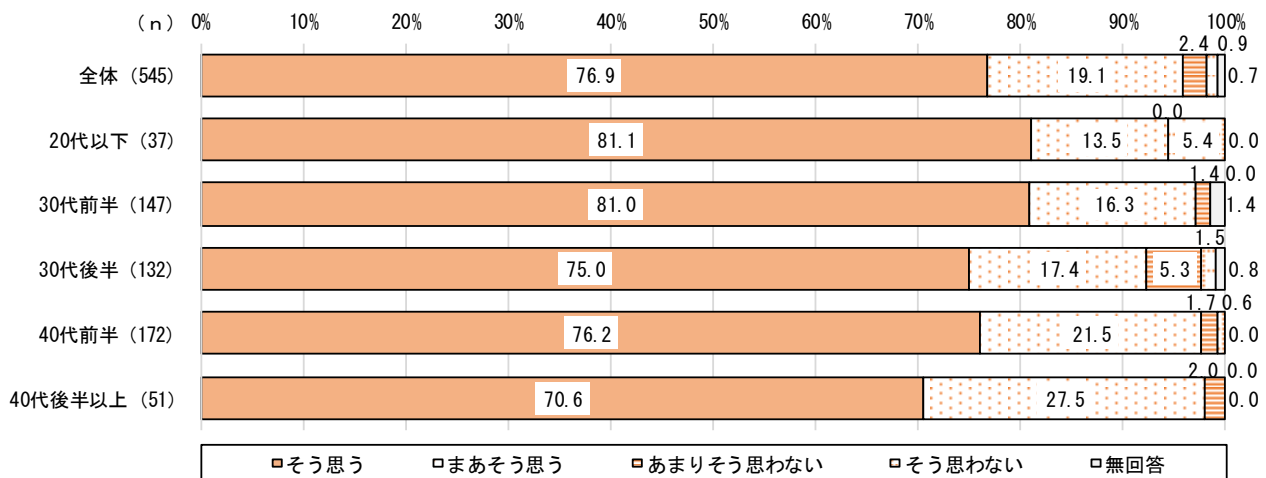
幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は「そう思う」が80.7%、「まあそう思う」が17.6%と、合計は98.3%となっています。

記入者の年齢別にみると、＜30代後半＞は「あまりそう思わない」が5.3%、「そう思わない」が1.5%と、合計が6.8%と全体で最も高くなっています。

子育ては夫婦共同で行うべきものだ／幼児・小学生



子育ては夫婦共同で行うべきものだ／記入者の年齢



第2章 調査結果の詳細

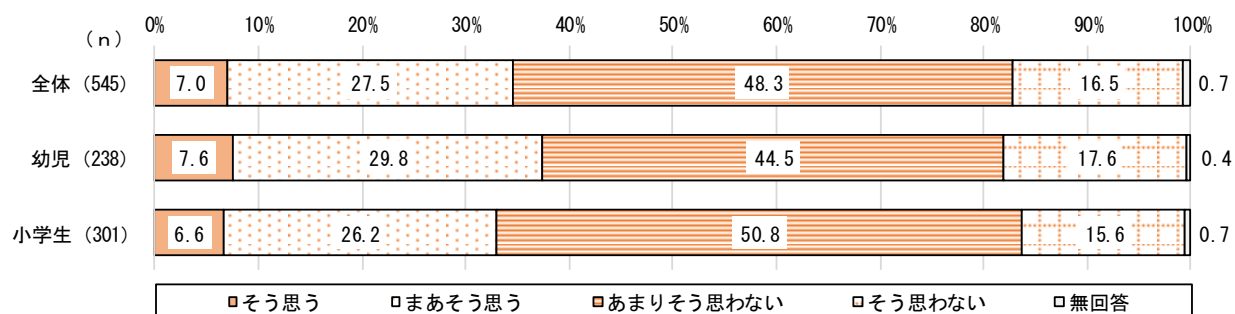
祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない

祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではないは、「あまりそう思わない」が48.3%、「まあそう思う」が27.5%となっています。

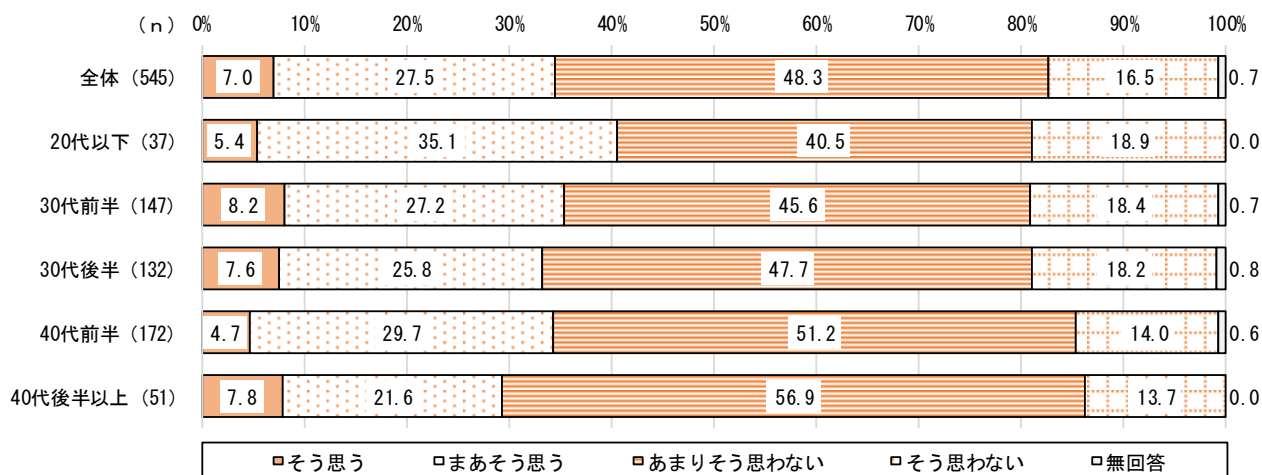
幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は「そう思う」と「まあそう思う」の合計は約4割となっている一方で、「そう思わない」は17.6%と、＜小学生＞の15.6%よりやや高くなっています。

記入者の年齢別にみると、＜20代以下＞は「そう思う」と「まあそう思う」の合計は約4割と最も高くなっています。一方で＜40代後半以上＞は「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計は約7割と最も多くなっています。

祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない／幼児・小学生



祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない／記入者の年齢



より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思う

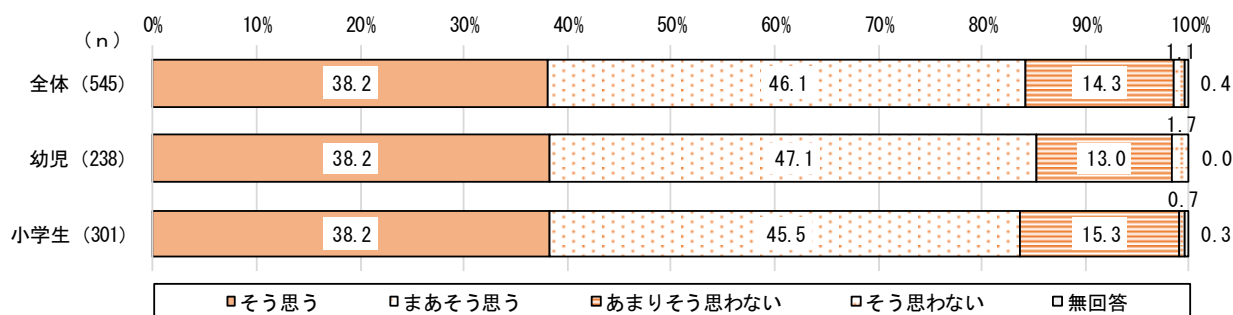
より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思うは、「まあそう思う」が46.1%、「そう思う」は38.2%となっています。

幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は「そう思わない」が1.7%と、＜小学生＞の0.7%より若干高くなっています。

記入者の年齢別にみると、＜30代前半＞と＜30代後半＞は「そう思う」と「まあそう思う」の合計が約9割となっており、全体で最も高くなっています。＜20代以下＞と＜40代前半＞、＜40代後半以上＞は、「あまりそう思わない」が約2割となっています。

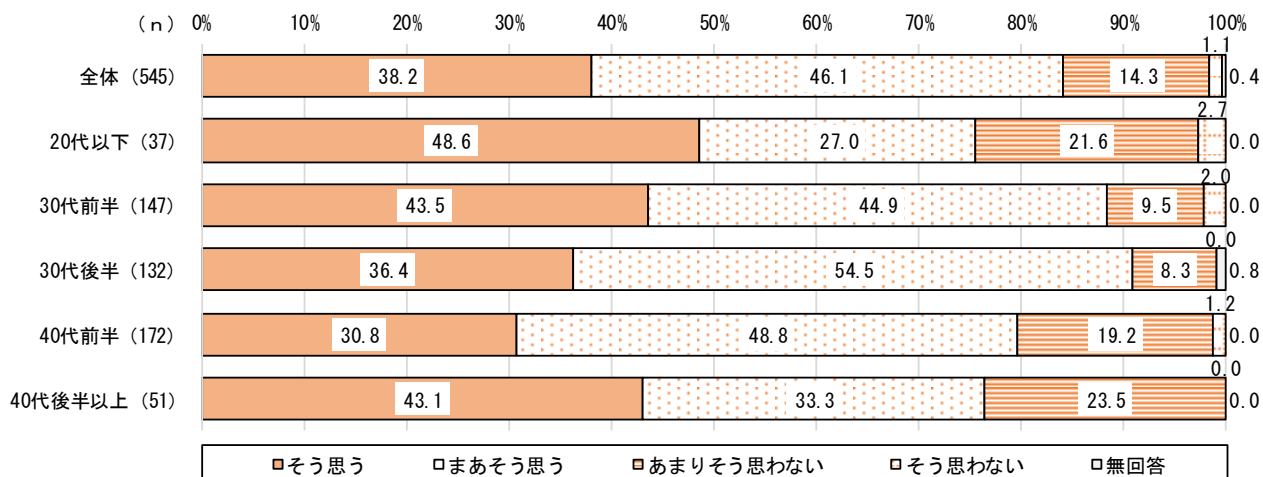
より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思う／

幼児・小学生



より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思う／

記入者の年齢



第2章 調査結果の詳細

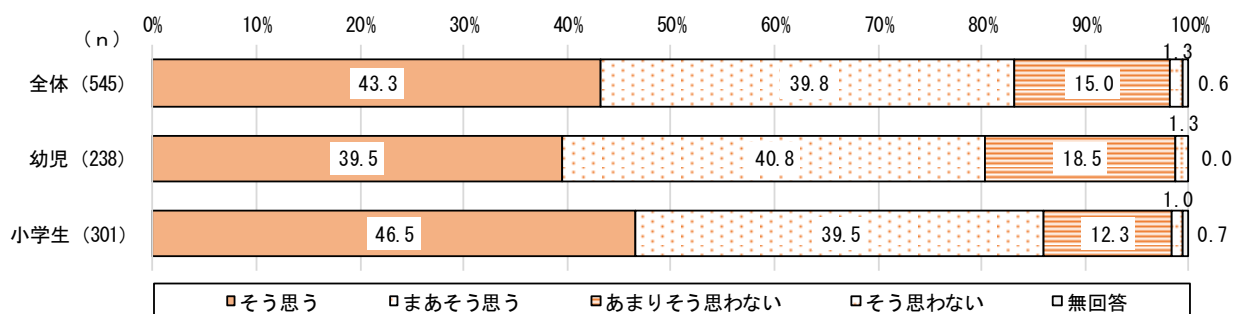
より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う

より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思うは、「そう思う」は43.3%、「まあそう思う」は39.8%となっています。

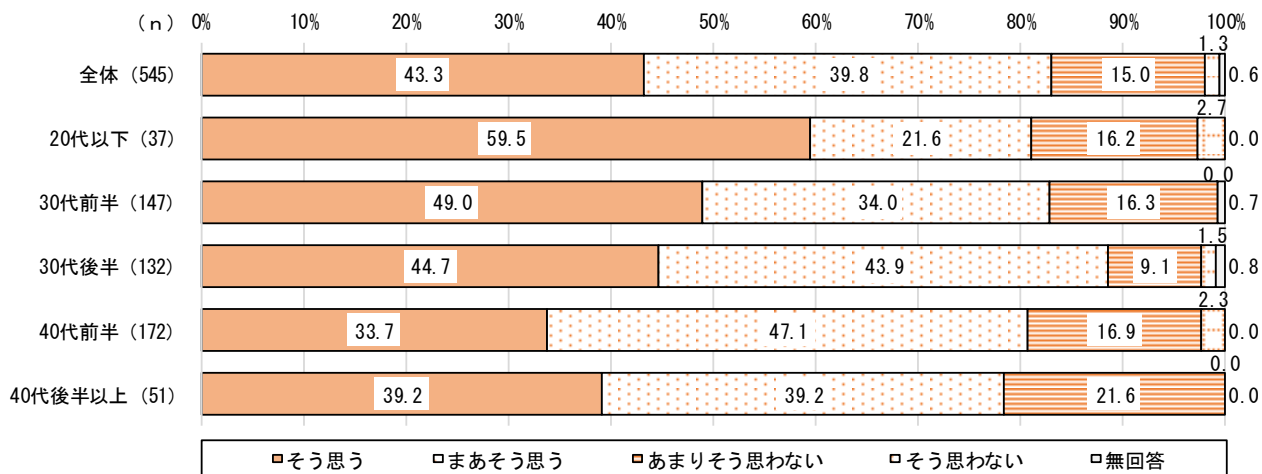
幼児・小学生別にみると、＜小学生＞は「そう思う」が46.5%と、＜幼児＞の39.5%より高くなっています。

記入者の年齢別にみると、＜20代以下＞は「そう思う」が59.5%と全体で最も高くなっています。＜40代前半＞は「そう思う」が33.7%と低くなっており、「まあそう思う」が47.1%と最も高くなっています。＜40代後半以上＞は「あまりそう思わない」が21.6%となっています。

より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う／幼児・小学生



より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う／記入者の年齢



(2) 風呂場の事故防止

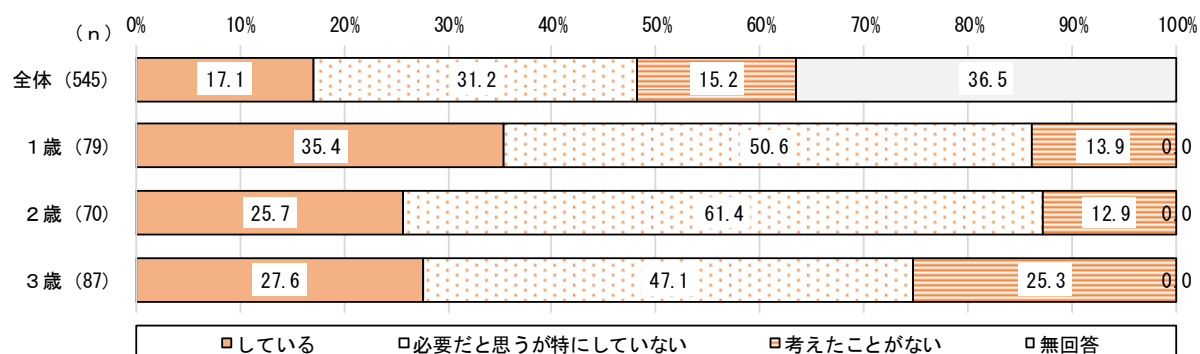
問17 (お子さんが幼児の場合のみ)

あなたの家庭では、風呂場の事故予防のためにお子さんがドアを開けられないようにロックするなどの工夫をしていますか。(〇は1つだけ)

風呂場での事故防止のための工夫は、「必要だと思うが特にしていない」が31.2%、「している」が17.1%となっています。

子どもの年齢別にみると、<1歳>と<2歳>の半数以上が「必要だと思うが特にしていない」となっている一方で、<1歳>は「している」が35.4%となっています。<3歳>は「考えたことがない」が25.3%と最も高くなっています。

風呂場での事故防止のための工夫／幼児



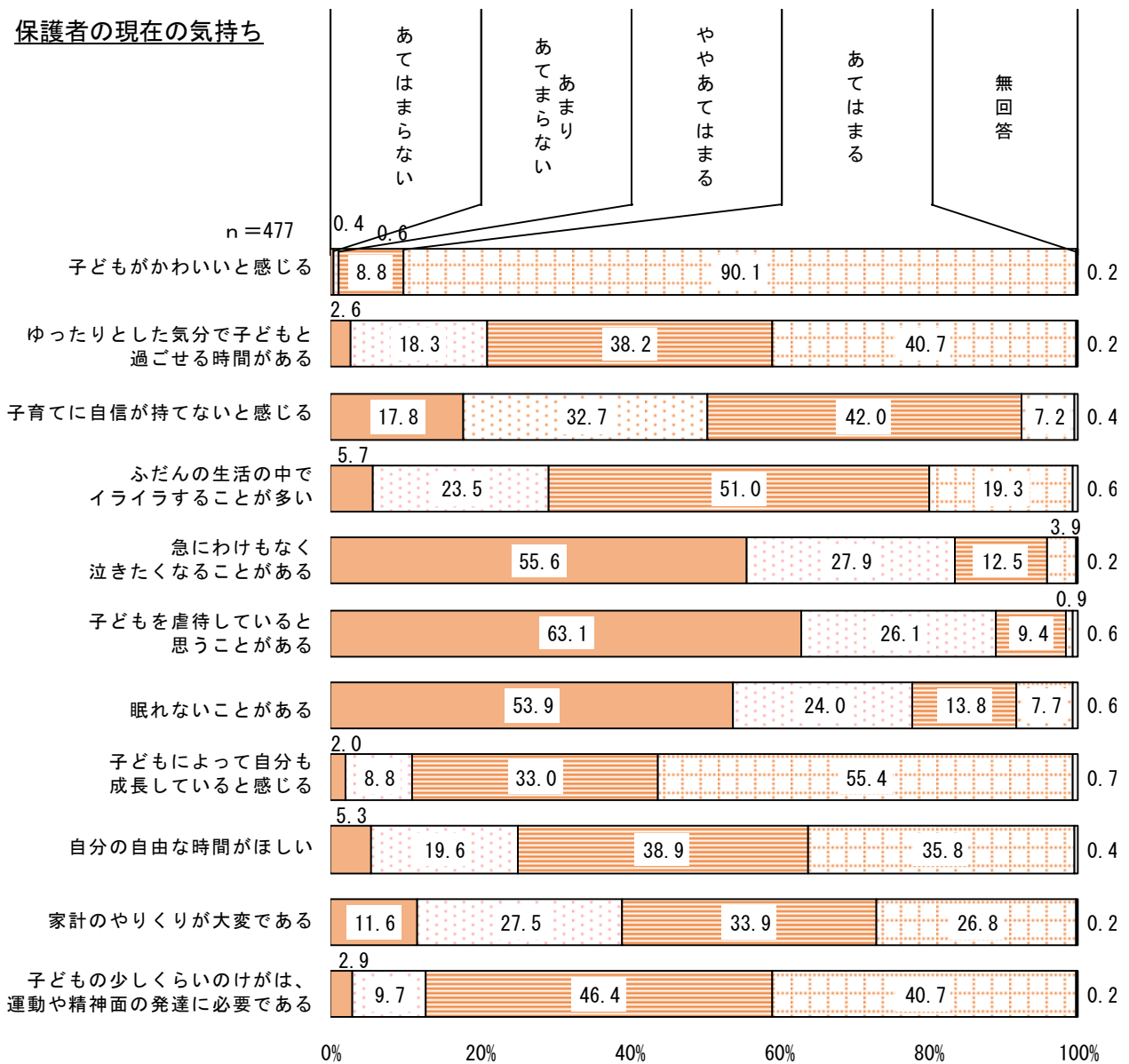
第2章 調査結果の詳細

(3) 保護者の気持ち

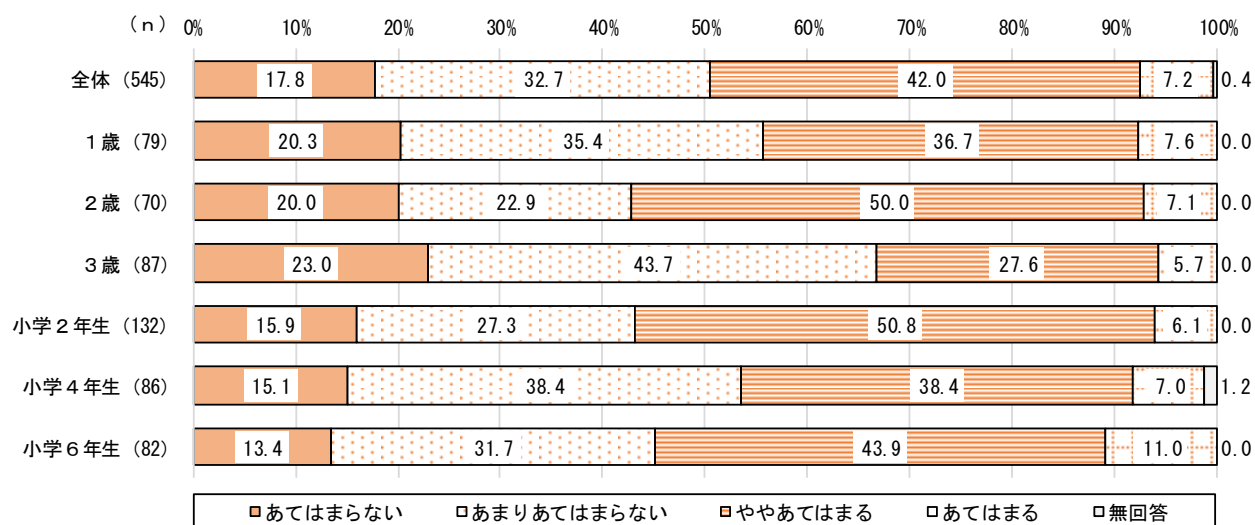
問18 今のあなたの気持ちにもっとも近い番号を選んでください。(それぞれについて、当てはまる番号1つだけに○)

保護者の現在の気持ちは、<子育てに自信が持てないと感じる>は「ややあてはまる」と「あてはまる」の合計は約半数となっています。<ふだんの生活の中でイライラすることが多い>は「ややあてはまる」が51.0%と最も高くなっています。<急にわけもなく泣きたくることがある>と<子どもを虐待していると思うことがある>、<眠れないことがある>は、「あてはまらない」が半数以上となっています。

保護者の現在の気持ち



子育てに自信が持てないと感じる／子どもの年齢（学年）



第2章 調査結果の詳細

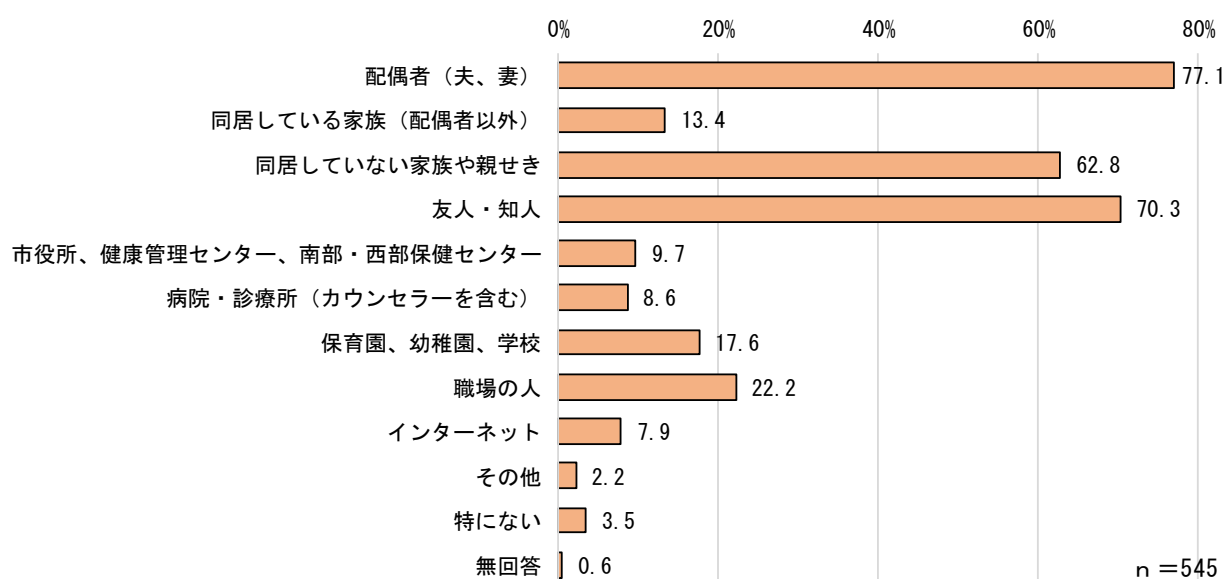
(4) 育児等の悩みの相談先

問19 上記のような、あなた自身や育児の悩みについて、誰に（どこに）相談していますか。（〇はいくつでも）

育児等の悩みについての相談先は、「配偶者（夫、妻）」が77.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が70.3%、「同居していない家族や親せき」が62.8%となっています。

子どもの年齢（学年）別にみると、＜小学6年生＞の約3割が「職場の人」となっています。＜1歳＞と＜2歳＞、＜3歳＞は「保育園、幼稚園、学校」が2割～3割、「市役所、健康管理センター、南部・西部保健センター」は1割～2割となっています。

育児等の悩みについての相談先／子どもの年齢（学年）



(n)	配偶者（夫、妻）	同居している家族（配偶者以外）	同居していない家族や親せき	友人・知人	市役所、健康管理センター、南部・西部保健センター	病院・診療所（カウンセラーを含む）	保育園、幼稚園、学校	職場の人	インターネット	その他	特にない	無回答
全体 (545)	77.1	13.4	62.6	70.3	9.7	8.6	17.6	22.2	7.9	2.2	3.5	0.6
1歳 (79)	89.9	13.9	64.6	68.4	19.0	7.6	25.3	19.0	6.3	6.3	0.0	0.0
2歳 (70)	84.3	7.1	82.9	71.4	12.9	10.0	21.4	15.7	12.9	5.7	2.9	0.0
3歳 (87)	82.8	16.1	66.7	60.9	17.2	11.5	33.3	19.5	11.5	2.3	4.6	0.0
小学2年生 (132)	72.7	15.2	59.1	72.7	4.5	7.6	8.3	22.0	6.1	0.8	3.8	1.5
小学4年生 (86)	74.4	15.1	62.8	66.3	3.5	8.1	8.1	24.4	3.5	0.0	4.7	0.0
小学6年生 (82)	63.4	12.2	43.9	80.5	4.9	6.1	14.6	32.9	8.5	0.0	4.9	0.0

(%)

(5) 父親の育児参加

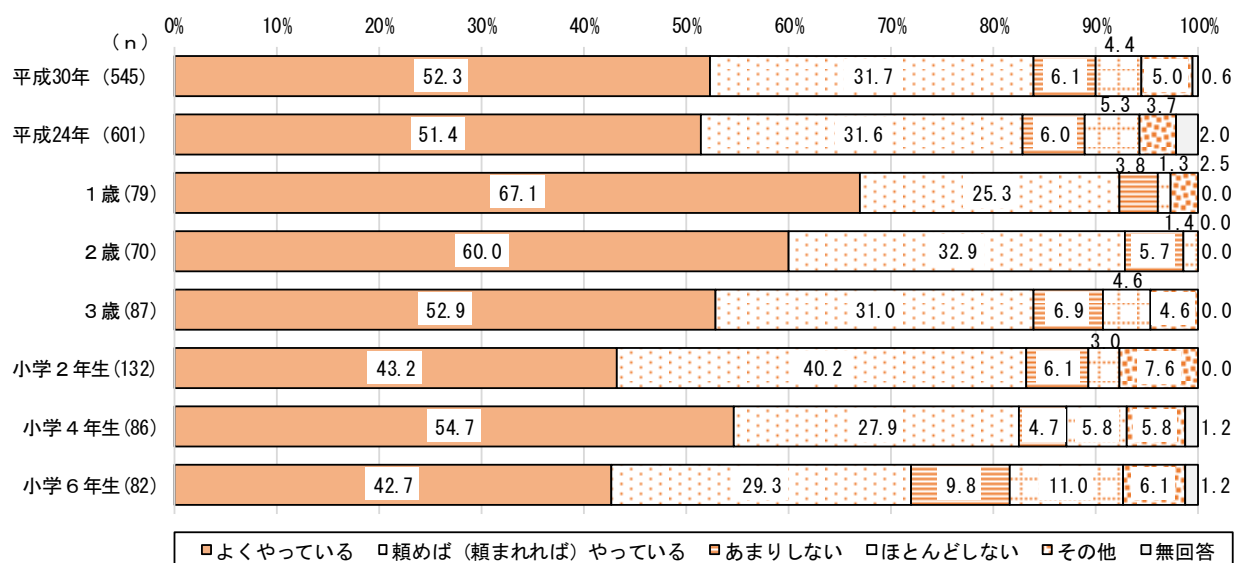
問20 父親は、育児に参加していますか。(○は1つだけ)

父親の育児参加は、「よくやっている」が52.3%、「頼めば(頼まれれば)やっている」が31.7%となっています。

平成24年調査結果とほとんど変化はありませんでした。

子どもの年齢(学年)別にみると、<1歳>と<2歳>では、「よくやっている」が6割以上と他の年齢より高くなっています。

父親の育児参加/前回、子どもの年齢(学年)



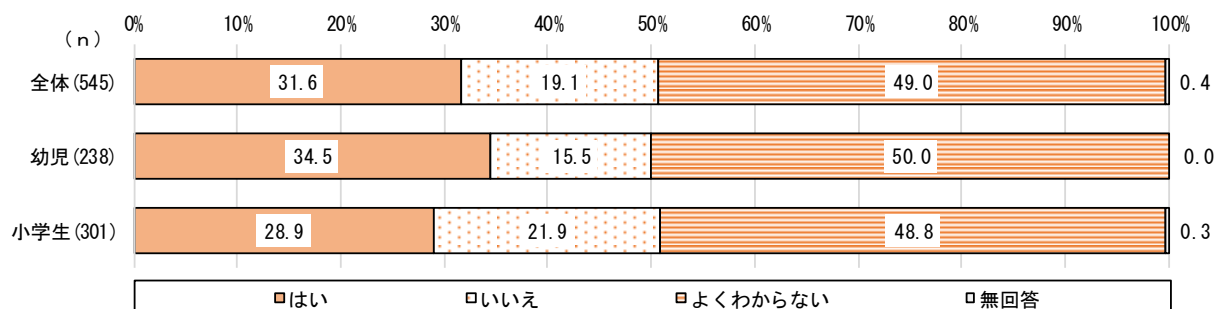
(6) 家庭での性に関する話

問21 あなたの家庭は、性に関することがらについてオープンに話せる家だと思いますか。(○は1つだけ)

性に関してオープンに話せる家庭かは、「よくわからない」が49.0%、「はい」が31.6%となっています。

幼児・小学生別にみると、<幼児>は「はい」が34.5%と、<小学生>の28.9%より高くなっています。

性に関してオープンに話せる家庭か/幼児・小学生



第2章 調査結果の詳細

問22 あなたは、お子さんから性に関する悩みの相談や質問を受けたときにきちんと答えることができますか。(〇は1つだけ)

子どもからの性の悩みや相談を受けたときにきちんと答えられるかは、「よくわからない」は48.3%、「はい」は45.1%となっています。

幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は「はい」が40.3%と低く、「よくわからない」が54.2%と高くなっています。＜小学生＞は、「いいえ」が7.3%となっています。

子どもからの性の悩みや相談を受けたときにきちんと答えられるか／幼児・小学生

